



人権啓発紙

輝きびと

R7.4.1

No.
124発行者 大津市政調整部
人権・男女共同参画課
TEL 528-2791・FAX 527-6288

第48回

わたしと人権 ～入賞者決まる～

「人権を守る大津市民の会」では、すべての人がこの大津に住んで良かったと思えるようにという願いと期待を込め、「人権」に視点を置いた活動を続けています。

このたび第48回「わたしと人権」の作品の募集を行い、園児から一般の方々まで幅広い市民のみなさんのご応募をいただきました。

今号は、これらの作品のうち、特別賞を受賞された作品の一部をご紹介します。それぞれの作品に記された貴重な体験や思い、願いから、自分や他人の人権について考えてみる機会になりましたら幸いです。

ポスターの部 特別賞



★すこやか賞



瀬田北幼稚園 5歳児(当時) 満江 理央奈さん

★ふれあい賞



栗津中学校 3年(当時) 森 ひと美さん

★ほのぼの賞

真野小学校 2年(当時) 高木 富士乃さん



★ときめき賞

瀬田小学校 3年(当時) 島元 仁柳さん

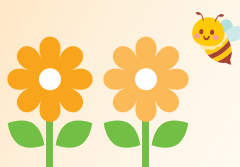


★さわやか賞



仰木の里東幼稚園 5歳児(当時) 中山 颯人さん

標語の部 特別賞



★ほのぼの賞

仰木の里東小学校 6年(当時) 竹村 恵真さん

温かい 笑顔のWi-Fi 広げよう

★すこやか賞

日吉中学校 3年(当時) 田畑 瑠音さん

人と自分 比べ合いより たたえ合い

★ふれあい賞

瀬田東小学校 3年(当時) 藤沼 恋空さん

かくされた はんぶんたりない くつところ

★ときめき賞

南郷中学校 2年(当時) 中下 茉優さん

「君は君」 その言葉だけで 救われる

★さわやか賞

石山小学校 4年(当時) 林 凜果さん

いじめはゴミばこ えがお元気は 宝箱

作文の部 特別賞

★ほのぼの賞

友だちっていいな

石山小学校 1年当時 八田 咲来さん

わたしは、友だちがいっしょにあそんでくれたり、あいさつをしてくれたりしたときに、友だちっていいなとおもいました。なぜなら、友だちがやさしくしてくれるとうれしいからです。こえをかける、といったほうもいわれたほうも、うれしくなります。これからも、やさしいことばをいっぱいつかいたいです。

もし友だちがいなかったら、一人ぼっちになってさびしくなります。さびしくならないように、これからもいじわるをしないように気をつけたいです。たいたたりけつたりしないようにしたら、みんなよい気もちになって、あたらしい友だちがいっぱいできるとおもいます。

たくさん友だちとなかよくしたいです。

★さわやか賞

多様性を受け入れることで、 尊重と平等の未来を創造する

一般 アスラ・ファリスさん

モミジの葉が、色が違うからと他の葉を責めるのを見たことがありますか？あるいは、バラが他の花のほうに香りがいいからと責めるのを見たことがありますか？

ないでしょう。

それぞれが庭に独特の美しさを加えてくれることを知っているからです。庭が色とりどりの草花によってにぎわうように、私たち人間の世界も多様性によって栄えます。

人類が誕生して以来、多くのことが変化しまし



た。狩猟時代、捕れる食べ物が限られ、常に命の危険にさらされていた時代では、見慣れないものに対して警戒することが生き残るために不可欠でした。その当時、生き残るために、私たちは自分たちの仲間が誰であるかを決め、仲間と違う者とは闘い、どんな犠牲を払ってでも自分たちの集団を守ることを大切にしていました。そのような行動は過去には不可欠だったかもしれませんが、今の時代には当てはまりません。

現代の世界は、多くの国々がつながりをもっています。この世界で生き残るためには、もはや自分たちとは異質であると考ええるものに対して警戒するのではなく、受け入れと尊重が必要です。周りを見渡してみると、人々の多様性に驚かされます。さまざまな背景、文化、言語、性別、年齢、肌の色を持つ人々がいます。これらの違いには、最初は馴染みがなく驚くかもしれませんが、その本質を見てみると、人々がいかにも似ているかに気づかされるでしょう。地位、立場に関係なく、人々は同じ欲求、同じ夢、同じ恐怖、そして他者から認められ受け入れられることへの願望を持っています。

将来、明るく繁栄した社会を築くためには、これらの違いを単に容認するだけでなく、それを祝福しなければなりません。背景、性別、年齢、能力に関係なく、すべての人の権利を尊重し大切にすることは、単なる理想ではなく、必要不可欠なことです。私たちの違いと共通の人間性を祝福することで、誰も取り残されず、すべての人の人権が守られることを保証できます。

将来を見据えるとき、人類の強さは同一性ではなく違いにあることを忘れないようにしましょう。モミジの葉の鮮やかな色やバラの繊細な香りのように、私たちの多様性は私たちが共に生きる世界に意味と美しさを加えます。違いを受け入れて尊重すること、すべての個人が認められ、評価され、独自の才能を発揮できる社会となり、人権を尊重する世界が、すべての人にとって夢ではなく現実とすることができるとです。

※原文は英文ですが、紙面の都合上、日本語訳のみ掲載しています。

★ときめき賞

言葉の力

逢坂小学校 4年当時 逸見 亮太さん

ぼくは、道徳のじゅ業で言葉の良い言い方と悪い言い方について学びました。自分でも言葉について考えてみることにしました。

ぼくは、日ごろ友だちとの会話は悪い言い方をしないように気をつけています。だけど友だちとふざけ合ったりしてしまった時に「お前」や「はあ？」などの言葉をつかってしまう時があります。その言葉がたまに口ぐせになっている自分があります。そして道徳のじゅ業で先生の話を聞いている時、ハッと思いました。そういつた言葉が出ている時は、自分がカッコいい言葉だと思って発言しているのではないだろうかと思いました。今、多くの言葉やその意味について学校で学んでいます。まだ分からない言葉がたくさんあります。だけど、インターネットやテレビで良くない言葉をたくさんの方がつかつかっていてなんとなくカッコいいとかんがいがしてつかつかってしまっている自分がとてもこわいなと思いました。

けんかや言い合い、いじりは、全て良くない言葉が火種になっている時があります。それはいじめにもつながってしまうことがあります。自分がそんなつもりではないと思って言った言葉も、相手がいやだと思ったらもうそれは心をきずつけてしまっています。

ぼくは、「言葉」という言葉を小さい時からよく家で耳にしていました。自分が言ったことは自分に返ってくると思って人と接してきました。言葉に不思議な力があると信じています。

言葉は人に元氣やゆう気をあたえてくれますが、人を悲しませたり立ち直れなくさせたりすることもあります。だからこそ言葉の持つている意味をしつかり学んで、正しいつかい方をしなければならぬと思います。言葉の持つているエネルギーや力を良い方向にいつも向けていければいいなと思いました。温かい言葉「ありがと」「大じょうぶだよ」「上手だね」「安心するよ。」という言葉をいっぱいつかつかって、相手の立場を思っ心をつなかりを大切にしていきたいです。

道徳のじゅ業を通して自分をみつめ直して良かったです。

紙面の都合上、全ての作文の部・特別賞作品を掲載することができませんでした。作文の部・特別賞を受賞された方で作品を掲載することができなかったのは、次の方々です。

★すこやか賞

一人ひとりの行動で世界は変わる

滋賀大学教育学部附属小学校 6年(当時) 中岡 沙綾さん

★ふれあい賞

大切な人を守る

田上中学校 3年(当時) 浅田 遥さん

なお、未掲載作品及び英文原文は
大津市ホームページ上でご覧いただくことが
できます。※令和8年2月中旬まで



詩の部 特別賞

★ふれあい賞

笑顔

和邇小学校 3年(当時) 高山 心晴さん

あいさつすれば
友だち笑顔
家族も笑顔
自分も笑顔
みーんな笑顔
思いやりの心があれば
友だち笑顔
家族も笑顔
自分も笑顔
みーんな笑顔

★すこやか賞

あいさつたのしいな

木戸小学校 1年(当時) 岡山 小夏さん

おはようというと
みんながうれしい
おはようというと
じぶんもいい気持ち
おはようというところ
があつたかくなる
おはようといわれると
じぶんもごきげん
みんなもごきげん
みんなでこえを
あわせてあいさつしたい
おはようって
気持ちいい

★ほのぼの賞

ありがとう

滋賀大学教育学部附属小学校 6年(当時) 長山 結さん

ありがとう ありがとう
みんなに会えてよかった
苦手な人も 好きな人も
ありがとう ありがとう
この学校に通えてよかった
お母さん お父さん
ありがとう ありがとう
思い出を作れてよかった
みんな みんな
生まれてきてよかった
ありがとう



★ときめき賞

平和と戦争

富士見小学校 6年(当時) 近江 叶音さん

今日も友だちと笑顔でしゃべった
とっても楽しかったな
明日は楽しみにしていた修学旅行
何があるのかな
お土産何にしようかな
明日のために早く寝よう
今日も空襲警報が鳴る
すごく怖いな
明日は楽しみにしていた修学旅行
何があつたのかな
お土産選^みびた^けかったな
今日もまた防空ごうで寝る

★さわやか賞

まかせた！バトン

南郷小学校 4年(当時) 鶴谷 美月さん

もうすぐバトンが回ってくるぞ
心はドキドキ
足はガクガク
ついに私は走り出した
友だちの「がんばれ！」という声が運動場に
ひびく
バトンが「早く行こう」とさそってくる
かんきやくの声が上がると同時に私の息も
上がる
つらいけど、もう少しで次の人にバトンパス
「まかせた！バトン
いってらっしゃい」

その他の部 特別賞

“その他の部”は、作文・詩・標語・ポスターの4部門以外の方法で表現された作品部門です。一つの作品ながら、多くの人による人権についての思いや、考えが詰まったものになっています。

★ふれあい賞



ぽかぽかお花ばたけ

和邇小学校 お花学級



※人権を守る大津市民の会は、現在、地域、職域を合わせて23団体が結集する市民団体です。駅頭・街頭啓発をはじめ人権作品の募集や入賞作品展の開催など、幅広い啓発活動を市民ぐるみで展開しています。

★さわやか賞



あとがき

今回、特集した「わたしと人権」の作品には、日常生活の中での人との触れ合いを通じて感じたこと、社会の問題に対する自分の考えや豊かな人間関係を築いていこうとするメッセージなど人権についての作者の各々の思いが詰まっています。今号の作品をご覧いただくことで、市民の皆さん一人一人が人権を尊重することの大切さについて、今一度ふり返っていただく機会になりましたら幸いです。

ご意見やご感想は

T52000047

(大津市浜大津四丁目111 明日都浜大津1階)

大津市政策調整部 人権・男女共同参画課

(☎52812791) まで



湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025



やさしさ満開わくわく♡をずっきゅん

石山小学校 5年(当時)